1	市町村名		宮古島市											
1	平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】													
担当部課名 地元南工商産刊信を交流接 不成24 - 28年度 子供表す 子のブリル東京の原列 子のブリル東京の原列 子のブリル東京の原列 子変数 本市の伝統工芸産業の原列に向けて、国の電要無形文化別に指定されている「富古上布」の生産、保存・伝承を支持するため、延神学業施工夫の 本市の伝統工芸産業の原列に向けて、国の電要無形文化別に指定されている「富古上布」の生産、保存・伝承を支持するため、延神学業所品との 本市の伝統工芸産業・富古上布」の集業の 24年度 26年度 27年度 28年度 28年												第3章 - 1 - (5) - イ 伝統工芸品等を活用した感性型		
# 本市の伝統工芸産業の振興に向けて、国の重要無形文化制に指定されている「宮古上布,の生産・保存・伝承を支援するため、関格等 超台に対し、補助金を交付する。	担当部課名							沖縄	沖縄振興基本方針		ものづくり産業の振興			
24年度 26年度 27年度 28年度 28年度 27年度 28年度 28年度 27年度 28年度 28年度 27年度 28年度 28年度 27年度 28年度 28年度 27年度 28年度	事業内容	本市の伝統工芸産業の振興に向けて、国の重要無形文化財に指定されている「宮古上布」の生産・保存・伝承を支援するため、織物事業協同												
(3) 当初予算額	実施方法	直	直接実施 					()					
・		(a) 当初予算額				25年度	:	26年度		27年月			28年度	
(回り		予 (6) 予管用類												
大学報告 大学 10 10 10 10 10 10 10 1		算 🖳	,		<i>'</i>									
A . 計(bd)	之管 結。	状 /	, , ,	_										
1,000	執行額	,元 (,	10	.000									
** ** ** ** ** ** ** *	【単位:千円】	В	` '		,									
次年度繰越額 0 執行率(%)(B/A) 1000%		i												
株子車(%)(B/A) 1000% 子薄の状況の説明 不用額もなく、当初計画していた事業内容は概ね実施した。 注成状況			- 7 41 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7		,									
下月額もなく、当初計画していた事業内容は概ね実施した。 日24年度 26年度 27年度 28年度 24年度 26年度 27年度 28年度 24年度 26年度 27年度 28年度 24年度 26年度 27年度 28年度 26年度 27年度 28年度 26年度 27年度 28年度 26年度 27年度 28年度 28年度 28年度 27年度 28年度 28				10	0.0%									
H24活動目標 指標 24年度 26年度 27年度 28年 28年 28年 24年度 26年度 27年度 28年 28年 24年度 26年度 27年度 28年 2														
24年度 26年度 27年度 28年		H24活動目標(指標)						達成状況						
活動目標 (指標)					24年	度	26年月	芰	2	7年度		28年度		
活動目標 (指標)		支援		目標	(新商品	開発)	()	() (
日標	V-11-0-15			実 績	新商品	開発								
大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	(指標)	支援		5)の振興に向けた	目標	(販路拡	(大)	()	() (
「原外展示会への誘客のため、冊子・チラシ・案内八ガキの作成、大使館、出版社、染織関係へ送付、都内わしたショットで・チラシの配布、新宿駅等へポスターの掲示、SNS、朝日新聞等への掲載。 「原外展示会への誘客のため、冊子・チラシ・案内八ガキの作成、大使館、出版社、染織関係へ送付、都内わしたショットランの配布、新宿駅等へポスターの掲示、SNS、朝日新聞等への掲載。 「版路拡大を目的に、都内において各関連団体と開催した展示会で、約150点の作品展示、素材展示、講演会・ワークの関催、アンケートの依頼。 日本					実績	展示会県	外1回							
R24加米目標(指標)		成状 県外展示会への誘客のため、冊子・チラシ・案内八ガキの作成、大使館、出版社、染織関係へ送付、都内わしたショップ等でチラシの配布、新宿駅等へポスターの掲示、SNS、朝日新聞等への掲載。 販路状大を目的によれて各関連団体と開催した展示会で、約150点の作品展示、素材展示、講演会・ワークショッ												
支援 新商品の開発 実績 新商品開発 伝統工芸産業(宮古上布)の振興に向けた 支援 国内外への販路拡大 目標() (販路拡大) () () (国内外への販路拡大 実績 展示会県外1回 「参考指標」 新商品の帯・小物の販売額 (特標) 及び進捗状況 目標() (-) (20万) (20万円) (50 実績 本の代表の帯、上布素材ののれん、スカーフ 等) 実績 - 0円 5万円 平成24年度は、当該事業実施により、伝統工芸品「宮古上布」の振興が図られた。宮古上布の着物、着尺、帯、小物を展示し宮		H24成果目標(指標)					:	24年度	25	年度	26年	度	目標値 (28年度)	
新商品の開発 実 績 新商品開発			芸産業(宮古上布	うの振興に向けた	目標	() (新	商品開発)	()	()	()	
支援 実績 展示会県外1回 「参考指標」 新商品の帯・小物の販売額 (特標) 及び進捗状況 目標 () (-) (20万) (20万円) (50					実 績		新	商品開発						
国内外への販路拡大 実 績 展示会県外1回					目標	() (販	(路拡大)	()	()	()	
新商品の帯・小物の販売額 日 標 (つ) (20万) (20万) (20万) (50) (50) (10) (50) (10) (50) (10) (実 績		展示	会県外1回						
成果目標 (指標) (学麻糸の帯、上布素材ののれん、スカーフ 実績 等) - 0円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万		新商品の帯・小物の販売額 (苧麻糸の帯、上布素材ののれん、スカーフ			目標	() (-)	(2	0万)	(20万F	円)	(50万円)	
及び進捗状況 平成24年度は、当該事業実施により、伝統工芸品「宮古上布」の振興が図られた。宮古上布の着物、着尺、帯、小物を展示し宮					実績			-	()円	5万日	7		
新プランド」かどったいた、ボース・スタース・スタース・スタース・スタース・スタース・スタース・スタース・ス		捗 状 況 説	の新たな魅力を 新プランド「かき 着であり、礼装に リーフ等のであり、 カーフ等のでは カーマのでは であり解決なり 対している。 NPO法人「織り	PRできたともに、新 第つむ」のコンセプト には適さないと言われ い太い糸の割合が増 は宮古織物事業協同 開発した商品につい 見つかっていないが の海道実行委員会」	ブランドを展について、宮 れてるので「ネ けかしており、 同組合員で行 ては、藍を中 、草木染のヤ ・ヘデザイン!	示し、宮古上布 古上布は着物 L装にも使える この糸を利用し にい、シャツについ いいとしたあるたり 特徴でもあるたり 開発を委託した	の過去か 業界におい 上布」を最 いいて はNF その製品が シャッにこ	ら未来への いて日本三才 終目標として、 として、帯、: O法人「織り が多く、洗濯 ¹ 特長、風合し ついては、一	形を示せている。 では、 一般では、 一般では	:た。 地位をも た。また、ミ えカーフ等 実行委員: よる。扱り ずず	っているが近年等麻紅原の小では、近年等の小ででは、が問題に記載して、近日に記載して、近日に記載して、	、麻織等 条生発を インスは でするな を支払	物は普段着洒落者の高齢化によ行った。帯、ス 行った。帯、ス 発を委託したい よとして上がっ などの対策を検 う必要があるが	

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

取組の検証

平成24年度に開発した新商品(シャツ)について、デザイン・加工技術等の使用について委託業者との販売時のデザイン使用料の調整が必要である。 開発した商品については、藍を中心とした草木染の製品が多く、洗濯や日照による退色が問題点(耐久性)として上がっており解決策が見つかっていない。

平成26年度の販売実績が5万円であったのは、一般的な麻織物の商品にくらべての割高感が影響していると考えられる。

デザイン・加工技術等の使用料について、委託業者と手数料等の調整を行

つ。 退色が問題点(耐久性)として上がっており解決策が見つかっていないが、 草木染の特徴でもあるため「製品の特長、風合い」として取り扱い説明に記 載するなどの対策を検討している。同時に退色の問題を改善するため染色 の材料・技法の検討を行う

の材料・技法の検討を行う。 天然素材を使用した手仕事の製品であり付加価値の高い商品であることを PRする.

今後の取り組み方針

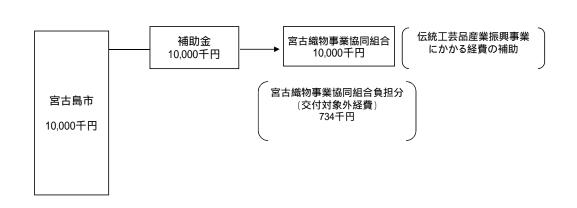
新ブランド「かぎつむ」は、従来の宮古上布の材料、技術を応用し、反物・帯などの高級品から普段使いの品まで幅広い商品展開を行っていく。特に、太い糸を利用した商品開発を中心に行う。退色問題の解決にむけて、平成27年9月に那覇から講師派遣してもらい染色の研修会を行う。 一学麻糸の帯(18万~35万円)、 上布素材ののれん(3万~4万円)、スカーフ(1万8千円~)など織物事業協同組合員で開発した商品については、各種展示会に

スカーフ、のれんなどの一部商品については、現在「銀座わしたショップ宝蔵」等にて展示販売中であるが、上布と同じ材料、技術を用いた製品であることをPRするとともに、商品点数を増やしていく。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費		
10,734	10,000	8,000	2,000	734		



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明		
使途の点 を を を の に に に に に に に に に に に に に		支出先の選定方法は妥当か。	伝統工芸品振興を図るために、宮古織物事業協同組合の 活動を支援することを目的としている為、補助金交付先は妥		
の点検評価・		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	当であった。 予定した事業は全て実施し、予算規模は適正であった。		
		受益者との負担関係は妥当であるか。	事業受託者も一定の費用を負担しており、費用負担関係 も適正であった。		
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用・使途については、完了検査にて確認、適正であった。		